

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 大阪府立北淀高等学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}

☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☒ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 533 - 0013

大阪府大阪市東淀川区豊里 2 丁目 11 番 35 号

E-mail asp@kitayodo.osaka-c.ed.jp

Website http://www.osaka-c.ed.jp/kitayodo/

幼児児童生徒数 男子 316 名 女子 373 名 合計 689 名

幼児・児童・生徒の年齢 15 歳～18 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「一人ひとりを大切に」を学校理念として、ESD を広い意味での「人権教育」と捉え、ESD の実践を通して「自分や他者を大切にする」力の育成を目標とした。

具体的には、「人権教育」、「国際交流」、「大阪ユネスコスクールネットワークの活動」を柱に、①「人権教育」に係わる学習、②「国際交流」に係わる学習、③「大阪ユネスコスクールネットワークの活動」に係わる学習を行った。

① 「人権教育」に係わる学習

今までに多くの偏見や差別を受けて生きてきた人たち（スタージウェーバー症候群・低身長など）を題材にしたさまざまな映像を見せた。その後、自分の意見をプリントにまとめさせ、他人と意見交換させることで多様な価値観に触れさせた。それによって、個人の人権感覚を高め、他者を尊重することを学んだ。

② 「国際交流」に係わる学習

(1) 留学生との交流（第2学年）

- ・ 留学生との出会い・交流を通して、文化の異なる人々と直に触れ合うことの喜びを体験し、また異文化への共感的理解を深める。
- ・ 留学生との学びあいを通して、自己と他者のつながりや、社会の中での自分の価値とあり方について考える。
- ・ 交流の企画、準備等を通して、能動的、積極的な態度を身につける。また、本学習を通して、将来の目標を前向きに考えるよう働きかける。

(2) 青年海外協力隊経験者による講演（第2学年）

- ・ 広く世界に興味・関心を持ち、自分たちとは異なった生活や文化があることを知り、異文化への共感的理解を深める。

③ 「大阪ユネスコスクールネットワークの活動」に係わる学習

- 大阪経済大学留学生夏まつり（7月7日）
- 日中ESD交流会準備セミナー（全6回）
- 日中ESD交流会（大阪ユネスコスクールネットワーク、12月23、24日）
- 人権文化発表交流会（大阪府教育センター、2月4日）



① の写真（授業風景）



② の写真（交流の様子）



③ の写真（経大夏祭り）



③の写真（日中ESD交流会）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本年度まではＡＳＰ委員会を中心に、「総合的な学習の時間」や課外活動（生徒会やユネスコ部）で実施していたが、来年度からは課外活動に加え、新しく「総合科」を新設し、「総合的な学習の時間」だけではなく、「産業社会と人間」などでも取り入れていく。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ＡＳＰ委員会を組織し、それが中心となり渉外活動などをおこない、継続的に活動を行える体制を構築している。また、昨年度から首席が委員長を兼ねるようになり、校内の分掌などとの協力体制が強化された。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部／外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

内部では、授業後に生徒にアンケートを実施し、授業内容の改善に努めている。また、外部では、学校協議会で活動内容を報告し、評価を得ている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校協議会を通じて、本校の活動を保護者・地域に発信し、「ESDの理念」が理解されるようになってきた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

大阪経済大学・大阪学院大学・大阪成蹊大学・追手門学院大学などと協力し、留学生の交流会を、企画・運営した。
JOCA近畿支部から青年海外協力隊経験者を派遣してもらい、交流会を実施した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

大阪ユネスコスクールネットワークに生徒が参加するだけでなく、教職員も企画・運営から参加し、他校とも協力してつくりあげていった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

留学生と青年海外協力隊の経験者のみなさんとの交流をつうじて、いろいろな人たちと積極的にコミュニケーションをとることができる生徒が増えた。また、自分たちとまったく異なる文化に触れることによって、いろいろな考え方を身につけた。

地域の公園清掃などを通じて、地域の課題に向き合い、その課題を解決する喜びを感じた。

- （3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

グローバルな課題に取り組みつつ、いろいろな国々からの留学生や青年海外協力隊の経験者のみなさんとの交流をさらにすすめ、地域とのつながりを強める活動（地域の公園清掃など）を推進していく。さらに、大阪ユネスコネットワークの活動に参加し、ユネスコスクールネットワークの形成・交流に協力していく。